大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成25年6月分【埋立中-1】)

【大気質、水質 (一般項目)】

国土交通省 近畿地方整備局 大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事	¥後調査	の概	要						
	1.	調査概	要		 	 	 	 	 	I - 1
	2.	工事の	実施	状況	 	 	 	 	 	I - 3
	3.	調査結	果の	概要	 	 	 	 	 	I - 4
П	事	事後調査	結果							
	1.	大気質	į		 	 	 	 	 	II - 1
	2.	水質			 	 	 	 	 	II - 9



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 25 年 6 月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成25年6月)

埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂)	1点(南港中央公園局)	6月1日~30日	通年連続
窒素酸化物(NO ₂ 、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向・風速			

(2)水質 (一般項目) 表-1(2)

調査項目	調査範囲·地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目	5点×2層	6月5日	1回/月
水素イオン濃度(pH)	[1, 2, 3, 4, 5]		
化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下1m		
溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m		
全窒素(T-N)			
全燐(T-P)			
●その他の項目			
透明度			
水温			
塩分			
濁度			
浮遊物質量(SS)			
クロロフィルa			

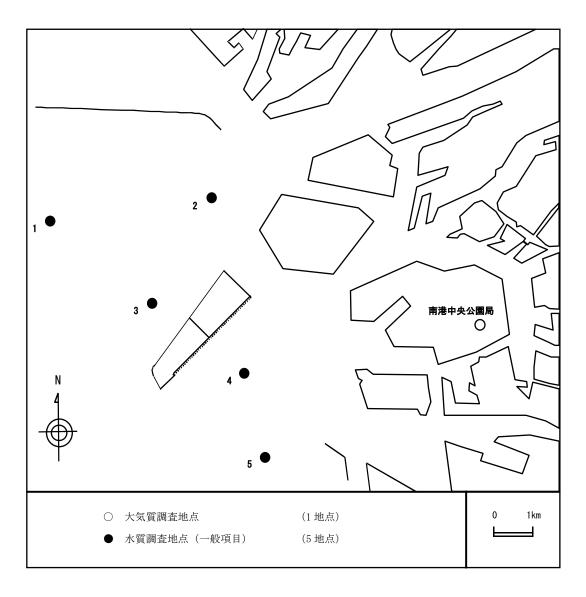
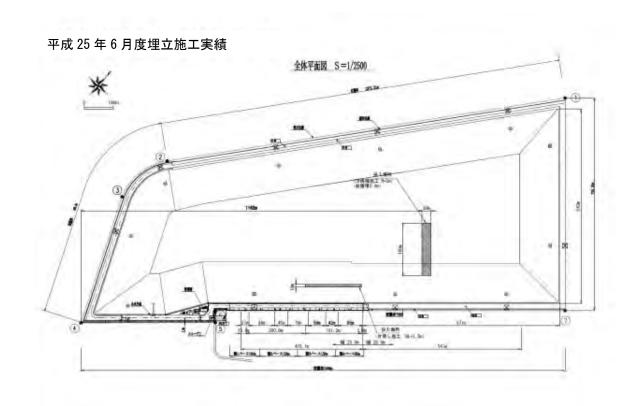


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成25年6月)

2. 工事の実施状況

平成25年6月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
2,225,653	15.9

埋立容量(計画量): 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 25 年 6 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

- (1) **大気質** [大気質様式第1号~8号]
- 1) **二酸化硫黄**(SO₂) 【環境基準値:日平均値:0.04ppm 以下、1時間値:0.1ppm 以下 】 二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は0.008ppm、 1時間値の最高値は0.028ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO_2) 【環境基準値:日平均値 $0.04\sim0.06$ ppm の範囲内またはそれ以下】 二酸化窒素 (NO_2) の月平均値は、0.024ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.034ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) **浮遊粒子状物質** (SPM) 【環境基準値:日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値:0.20 mg/m³以下】 浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.027mg/m³ であった。また、日平均値の最高値 は 0.036mg/m³、1時間値の最高値は 0.121mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

- (2) **水質** (一般項目) [水質様式第1号]
 - 1) **水素イオン濃度** (pH) 【環境基準値:7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で $8.3 \sim 8.7$ 、下層で $7.9 \sim 8.4$ の範囲にあり、上層では調査地点 2 を除く 4 地点で、下層では調査地点 4 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 3 (8.5)、調査地点 4 (8.6)、調査地点 5 (8.7)、下層における調査地点 4 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では上層で $7.7\sim8.6$ 、下層で $7.8\sim8.3$ の範囲にあり、今回の調査結果はこの範囲をやや上回る値もあったものの、概ね同程度であり、本事業による影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量(COD) 【環境基準値:3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.7~4.6mg /L、下層で 2.7~3.5mg /L の範囲にあり、 上層では全ての調査地点で、下層では調査地点 4 において環境基準値を上回った。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1(4.2 mg/L)、調査地点 2(4.6 mg/L)、調査地点 3(4.4 mg/L)、調査地点 4(3.7 mg/L)、調査地点 5(4.0 mg/L)、下層における調査地点 4(3.5 mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では上層で $1.6 \sim 4.9 mg/L$ 、下層で $1.2 \sim 3.6 mg/L$ の範囲にあり、今回の調査結果もこの範囲内にあることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) **溶存酸素量**(DO) 【環境基準値:5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で $10\sim12\,\mathrm{mg}/\mathrm{L}$ 、下層で $4.2\sim6.0\,\mathrm{mg}/\mathrm{L}$ の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 1 及び調査地点 5 で環境基準を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (4.2 mg/L) 、調査地点 5 (4.6 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では下層で $0.6 \sim 11 mg/L$ の範囲にあり、今回の調査結果もこの範囲内にあることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値: 0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.32~1.3mg/L、下層で 0.20~0.38mg/L の範囲にあり、調査地点 2 の上層において環境基準値を上回っていたが、その他の調査地点の上層及び全調査地点の下層では環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、調査地点 2 の上層(1.3mg/L)であった。事業実施前の 当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で $0.46\sim2.1$ mg/L であり、今回の調査 でもこの範囲内にあることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) **全燐**(T-P) 【環境基準値:0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は上層で $0.047\sim0.14$ mg/L、下層で $0.027\sim0.082$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 5 を除く全調査地点で、下層では調査地点 1 において環境基準を上回った。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.061mg/L)、調査地点 2 (0.14mg/L)、調査地点 3 (0.057mg/L)、調査地点 4 (0.056mg/L)、下層における調査地点 1 (0.082mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で $0.021\sim0.15$ mg/L、下層では $0.020\sim0.25$ mg/L であり、いずれもこの範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で $2\sim3$ 度(\dag オリン)、下層では $1\sim3$ 度(\dag オリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量(SS)は上層で $1\sim3$ mg/L、下層では $1\sim4$ mg/L の範囲であった。

8) /pp///// a

/ p p J / N a は上層で $2.9 \sim 10 \, \mu$ g/L、下層では $1.7 \sim 5.3 \, \mu$ g/L の範囲であった。

《参考》

■環境基準値等(本報告関係分)

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m 3 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20 mg/m 3 以下であること。

(2)水質

①水質 (海域)

類型	項目	基準値		
	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下		
D	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下		
В	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上		
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと		
ш	全窒素 (T·N)	0.6mg/L 以下		
Ш	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下		

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全 窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
 - 2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。 公共用水域における環境基準 (BOD 又は COD) の評価方法について (昭和 52 年環水管 52 号)
 - (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全 データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもっ て評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。 なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75% 水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (n は日間平均値のデータ数)のデータ値をもって 75%水質値 $(0.75 \times n$ 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる)とする。

- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と 同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基 準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断 方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果 (平成 12 年度・水質 (一般項目))

			事業実施	前調杏			
		区 分	(平成 12 年度・調査地点 1~5)				
項目			最小値 ~ 最大値	平均値			
			(m/n)	(m/n)			
			$7.7 \sim 8.6$	(-11-12)			
水素イオン	ン濃度	上層	(13/60)	_			
(Hq)	[-]	て団	$7.8 \sim 8.3$				
(11)	,	下層	(0/60)				
11 . 3/4 . 4.1	***	上層	$1.6 \sim 4.9$	$3.2 \sim 3.9$			
化学的酸	素要求量	上/官	(34/60)	(5/5)			
(COD)	[mg/L]	下層	1.2 \sim 3.6	2.0 \sim 2.2			
		1 /目	(4/60)	(0/5)			
>> +> ±> ±>		上層	$5.2 \sim 14$	8.6 \sim 9.8			
溶存酸素	重		(0/60)				
(DO)	[mg/L]	下層	0.6 \sim 11	$6.2 \sim 6.9$			
		1 / 🖽	(14/60)				
全窒素		上層	$0.46 \sim 2.1$	$0.91 \sim 1.1$			
王至糸				(5/5)			
(T-N)	[mg/L]	下層	$0.29 \sim 0.82$	$0.44 \sim 0.49$			
		1 / 🖽		(0/5)			
全燐		上層	$0.021 \sim 0.15$	$0.061 \sim 0.098$			
		/-	0.000	(5/5)			
(T-P)	[mg/L]	下層	$0.020 \sim 0.25$	$0.038 \sim 0.063$			
N) . [8]			di la companya A Stranda di la	(1/5)			

注) 1.「最大~最小」の値は、調査地点1~5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

^{2.} m:環境基準を満たしていないデータ数、n:総データ数を示す。

^{3.「}平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小〜最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小〜最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

大気質測定結果総括表[平成25年6月分]

項	測 定 局	南港中央公園
_	有効測定日数(日)	30
酸	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0
化硫黄	測定時間数(時間)	713
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0
	有効測定日数(日)	30
_	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0
酸化	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0
化窒素	測定時間数(時間)	717
素	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数(時間)	0
浮遊	有効測定日数(日)	30
粒粒子	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数(日)	0
状	測定時間数(時間)	718
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0
	備考	

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号(埋立地関連)

二酸化硫黄測定結果[平成25年6月分]

	測 定 局	南港中	央公園
	項目	日平均値 (ppm)	1時間値 の最高値 (ppm)
日	1 (月) 2 (火) 3 (水) 4 (木) 5 (金)	0. 008 0. 006 0. 007 0. 006 0. 007	0. 019 0. 012 0. 016 0. 009 0. 012
	6 (土) 7 (日) 8 (月) 9 (火) 10 (水)	0. 006 0. 005 0. 006 0. 005 0. 006	0. 009 0. 009 0. 014 0. 007 0. 011
別	11 (木) 12 (金) 13 (土) 14 (日) 15 (月)	0. 006 0. 004 0. 008 0. 005 0. 003	0. 009 0. 007 0. 028 0. 010 0. 008
73.1	16 (火) 17 (水) 18 (木) 19 (金) 20 (土)	0. 004 0. 005 0. 005 0. 003 0. 003	0. 010 0. 007 0. 008 0. 004 0. 005
	21 (日) 22 (月) 23 (火) 24 (水) 25 (木)	0. 003 0. 005 0. 008 0. 006 0. 006	0. 004 0. 013 0. 015 0. 010 0. 009
値	26 (金) 27 (土) 28 (日) 29 (月) 30 (火)	0. 004 0. 007 0. 006 0. 007 0. 006	0. 011 0. 017 0. 010 0. 015 0. 008
有	効 測 定 日 数 (日)	3	0
測	定 時 間 (時間)	7	13
月	平均值 (ppm)		006
	Z均値の最高値(ppm)		008
	特間値の最高値(ppm) 特間値が0.1ppmを超えた時間数(時間))28
	宇间値が0.1ppmを超えた時間数(時間) ^Z 均値が0.04ppmを超えた日数(日))
μТ	とは Not Azhbin G VG V (C 日 2)(日)	<u>'</u>	,

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。 その場合、日平均値の集計の対象としない。

^{2.} 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果) は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号(埋立地関連)

一酸化窒素測定結果[平成25年6月分]

	測	定	局		南港中	央公園	
	項		目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	$\overline{2}$	月) 火水) 木金)			0. 002 0. 000 0. 004 0. 006 0. 006	0. 006 0. 002 0. 026 0. 035 0. 028	
	7 (8 (9 (土) 月) 火水)			0. 004 0. 003 0. 002 0. 001 0. 002	0. 013 0. 017 0. 007 0. 003 0. 008	
Dil.	12 (2 13 (2 14 (木) 金) 土) 月)			0. 004 0. 004 0. 006 0. 003 0. 008	0. 018 0. 013 0. 034 0. 010 0. 029	
別	17 () 18 ()	火) 水) 木) 土)			0. 001 0. 003 0. 003 0. 005 0. 004	0. 006 0. 020 0. 016 0. 021 0. 021	
	22 (23 (24 (日) 月) 水) 木)			0. 004 0. 002 0. 001 0. 004 0. 005	0. 012 0. 009 0. 004 0. 017 0. 020	
値	27 () 28 () 29 ()	金) 土) 月) 火)			0. 013 0. 005 0. 004 0. 002 0. 001	0. 086 0. 021 0. 013 0. 011 0. 003	
有	効 測 定	日	数 (日)	3	0	
測	定時	間	(時間)		7	17	
月 平 均 値 (ppm) 0.004							
	Z均値の最				0. 013		
1時	時間値の 最	長高値	(ppm)		0.0	086	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果) は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号(埋立地関連)

二酸化窒素測定結果[平成25年6月分]

		測 定 局	南港中	央公園					
		項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)					
日	1 2 3 4 5	(月) (火) (水) (木) (金)	0. 030 0. 018 0. 028 0. 026 0. 027	0. 045 0. 034 0. 050 0. 045 0. 043					
	6 7 8 9 10	(土) (日) (月) (火) (水)	0. 024 0. 023 0. 020 0. 014 0. 023	0. 035 0. 048 0. 033 0. 025 0. 044					
別	11 12 13 14 15	(木) (金) (土) (日) (月)	0. 023 0. 015 0. 027 0. 025 0. 028	0. 042 0. 023 0. 047 0. 042 0. 044					
ניס	16 17 18 19 20	(火) (水) (木) (金) (土)	0. 015 0. 019 0. 019 0. 013 0. 031	0. 039 0. 040 0. 032 0. 024 0. 054					
	21 22 23 24 25	(日) (月) (火) (水) (木)	0. 032 0. 023 0. 023 0. 030 0. 029	0. 058 0. 041 0. 045 0. 048 0. 050					
値	26 27 28 29 30	(金) (土) (日) (月) (火)	0. 034 0. 034 0. 026 0. 019 0. 012	0. 058 0. 066 0. 039 0. 030 0. 023					
有	効 測	定日数 (日)	3	0					
測	定	寺 間 (時間)	7	17					
月	•	匀 値 (ppm)	0.0	024					
		D最高値 (ppm)		034					
	1 時間値の最高値 (ppm) 0.066 0.066								
_	1 時間値が0. 2ppmを超えた時間数 (時間) 0								
		i ³ 0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間))					
_		iiO.06ppmを超えた日数(日))					
口斗	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日) 0 0								

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。 その場合、日平均値の集計の対象としない。

^{2.} 大気質の調査結果 (大阪市環境局による常時測定結果) は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成25年6月分]

	測 定	南港中央公園			
			日平	均值	1時間値の
	項	目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	最高値 (ppm)
日	1 (月) 2 (火) 3 (水) 4 (木) 5 (金)		0. 032 0. 018 0. 032 0. 031 0. 032	93. 8 100. 0 87. 5 83. 9 84. 4	0. 048 0. 035 0. 076 0. 080 0. 071
	6 (土) 7 (日) 8 (月) 9 (火) 10 (水)		0. 028 0. 026 0. 022 0. 014 0. 025	85. 7 88. 5 90. 9 100. 0 92. 0	0. 047 0. 065 0. 039 0. 028 0. 048
別	11 (木) 12 (金) 13 (土) 14 (日) 15 (月)		0. 027 0. 020 0. 033 0. 028 0. 036	85. 2 75. 0 81. 8 89. 3 77. 8	0. 060 0. 036 0. 078 0. 049 0. 073
万·J	16 (火) 17 (水) 18 (木) 19 (金) 20 (土)		0. 016 0. 022 0. 022 0. 018 0. 035	93. 8 86. 4 86. 4 72. 2 88. 6	0. 043 0. 060 0. 048 0. 044 0. 075
	21 (日) 22 (月) 23 (火) 24 (水) 25 (木)		0. 036 0. 025 0. 024 0. 035 0. 033	88. 9 92. 0 95. 8 85. 7 87. 9	0. 069 0. 043 0. 046 0. 064 0. 067
値 	26 (金) 27 (土) 28 (日) 29 (月) 30 (火)		0. 048 0. 039 0. 030 0. 020 0. 013	70. 8 87. 2 86. 7 95. 0 92. 3	0. 144 0. 087 0. 052 0. 041 0. 026
	効 測 定 日 数 (日)			30	
測	定 時 間 (時間)			717	
月	平均値 (ppm)		0. 027		
	Z均値の最高値(ppm) 時間値の最高値(ppm)	0.048			
	特間値の最高値(ppm) ヹ均値 NO₂/(NO+NO₂)(%)			0. 144 87. 5	
71 1	- 7月已 1102/ (110·1102/ (70)			01.0	

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象 としない。

(NO及びNO2が同時測定されている時間のNO2濃度の日(月)間にわたる総和)/ (NO及びNO2が同時測定されている時間のNO+NO2濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

 $^{2.} NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均值NO₂/(NO+NO₂)=

浮遊粒子状物質測定結果[平成25年6月分]

	測 定 局	南港中	央公園		
	項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)		
日	1 (月) 2 (火) 3 (水) 4 (木) 5 (金)	0. 027 0. 030 0. 030 0. 032 0. 034	0. 035 0. 048 0. 048 0. 044 0. 067		
	6 (土) 7 (日) 8 (月) 9 (火) 10 (水)	0. 024 0. 024 0. 028 0. 029 0. 021	0. 034 0. 042 0. 048 0. 043 0. 033		
別	11 (木) 12 (金) 13 (土) 14 (日) 15 (月)	0. 013 0. 014 0. 025 0. 026 0. 033	0. 022 0. 021 0. 041 0. 045 0. 047		
נים	16 (火) 17 (水) 18 (木) 19 (金) 20 (土)	0. 025 0. 036 0. 036 0. 032 0. 019	0. 040 0. 054 0. 054 0. 059 0. 029		
	21 (日) 22 (月) 23 (火) 24 (水) 25 (木)	0. 027 0. 028 0. 033 0. 033 0. 031	0. 121 0. 046 0. 049 0. 050 0. 047		
値	26 (金) 27 (土) 28 (日) 29 (月) 30 (火)	0. 018 0. 026 0. 024 0. 022 0. 024	0. 042 0. 044 0. 037 0. 036 0. 036		
有	効 測 定 日 数 (日)	30			
測	定 時 間 (時間)	718			
月	平 均 値 (mg/m³)	0. 027			
	Z均値の最高値(mg/m³)		036		
1 時間値の最高値 (mg/m³) 0. 121					
	時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間) Z均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	0			
μΨ		'	J		

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。 その場合、日平均値の集計の対象としない。

^{2.} 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号(埋立地関連)

気象観測結果(風向・風速)[平成25年6月分]

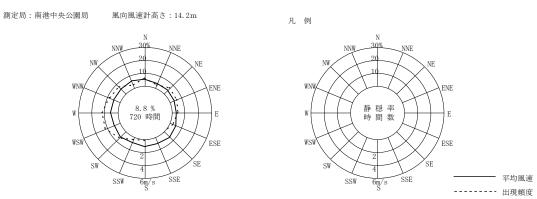
	測 定 局			南港中央公園				
			風	速	最多			
		平均	;	最大風速	風向			
	項目	風速	風速	風向				
		(m/s)	(m/s)	16方位	16方位			
目	1 (月) 2 (火) 3 (水) 4 (木) 5 (金)	1. 1 1. 1 1. 1 1. 0 1. 2	2. 6 1. 9 2. 1 2. 8 3. 4	ESE WSW WSW WSW WSW	NE, NNE, ESE, SW ENE, WSW W, WSW NW, WNW WSW			
	6 (土) 7 (日) 8 (月) 9 (火) 10 (水)	1. 4 1. 2 0. 9 0. 8 1. 2	2. 4 1. 9 1. 8 1. 5 2. 8	E ENE, W WSW WNW E	NE N N NW, WNW E			
別	11 (木) 12 (金) 13 (土) 14 (日) 15 (月)	1. 8 2. 2 1. 4 1. 2 0. 6	3. 0 4. 0 3. 1 3. 1 1. 6	E ENE WSW W	NE ESE N, W NW NW, WNW			
70'3	16 (火) 17 (水) 18 (木) 19 (金) 20 (土)	1. 0 1. 0 1. 1 1. 6 0. 8	2. 2 2. 1 2. 0 2. 7 1. 4	WSW WSW W SSW ESE	WSW SW, WNW SW SW WSW			
	21 (日) 22 (月) 23 (火) 24 (水) 25 (木)	0. 7 0. 8 0. 6 1. 0 0. 8	1. 8 1. 8 1. 3 2. 1 2. 1	S WSW W W	N W W W			
値	26 (金) 27 (土) 28 (日) 29 (月) 30 (火)	1. 1 0. 8 1. 3 1. 2 0. 8	2. 5 1. 6 2. 4 2. 5 2. 3	ESE, E SW, WSW E W	N SW E WSW NW, WNW			
測	定 時 間 (時間)			720				
月	平 均 風 速 (m/s)	1.1						
月	最大風速(m/s)	4. 0						
月	最多風向(16方位)			W				

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。 2.大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成25年6月分]

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時 間数
度 数	22	50	48	41	25	7	6	10	18	55	91	92	66	57	21	48	63	720
頻 度 (%)	3. 1	6.9	6.7	5. 7	3.5	1.0	0.8	1.4	2. 5	7. 6	12.6	12.8	9. 2	7. 9	2. 9	6. 7	8.8	-
平均風速(m/s)	0.9	1.0	0.9	0. 9	1.2	1.4	1.2	1.2	1.0	1.3	1.1	1.2	1. 1	1. 1	1. 3	1. 1	1.0	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風 配 図 [平成25年6月分]

水質様式第1号

水質調査結果(一般項目)

[平成25年 6月分]

調査日: 平成25年 6月 5日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値	~	最大値	平均値
時刻		9:28	9:05	9:10	9:46	10:11		_		_
透明度	[m]	3. 2	3.0	2. 9	2.4	2.7	2.4	\sim	3. 2	2.8
水温		21.6	22. 3	21. 2	21.3	22.5	21. 2	\sim	22.5	21.8
	$[\mathcal{C}]$	16. 3	16. 5	17. 1	17. 1	16.8	16. 3	\sim	17. 1	16.8
塩分		27.65	25. 29	29. 18	29. 78	29.86	25. 29	\sim	29.86	28. 35
	[-]	32. 53	32. 43	32. 46	32. 37	32. 35	32. 35	\sim	32. 53	32. 43
濁度		2	3	2	2	2	2	\sim	3	2
	度 (カオリン)]	3	2	2	2	1	1	\sim	3	2
浮遊物質量	浮遊物質量 (SS)		3	1	1	1	1	\sim	3	1
	[mg/L]			2	2	1	1	\sim	4	2
水素イオン濃	8.5	8.3	8.5	8.6	8.7	8.3	\sim	8. 7		
(pH) [-]		7.9	8.0	8. 1	8.4	8. 1	7. 9	\sim	8.4	_
化学的酸素要	京求量	4.2	4.6	4.4	3. 7	4.0	3. 7	\sim	4.6	4.2
(COD)	[mg/L]	2.7	2.8	2. 7	3. 5	2.8	2. 7	\sim	3. 5	2.9
	濃度	10	11	11	11	12	10	\sim	12	11
溶存酸素量	[mg/L]	4. 2	6.0	5. 4	5.8	4.6	4. 2	\sim	6.0	5. 2
(DO)	飽和度	137	152	143	146	161	137	\sim	161	148
	[%]	52	74	67	73	57	52	\sim	74	65
全窒素		0. 53	1. 3	0.51	0.42	0.32	0.32	\sim	1.3	0.62
(T-N)	[mg/L]	0.38	0.31	0. 20	0.34	0.20	0.20	\sim	0.38	0. 29
全燐		0.061	0. 14	0.057	0.056	0.047	0.047	\sim	0.14	0.072
(T-P)	[mg/L]	0.082	0.050	0.029	0.049	0.027	0.027	\sim	0.082	0.047
クロロフィル	6. 1	10	5.3	5. 7	2. 9	2. 9	\sim	10	6. 0	
(chl. a)	$[\mu \text{ g/L}]$	2.3	3. 3	1. 7	5.3	2.6	1.7	\sim	5. 3	3.0

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

特記事項			